

学習院女子大学 高大連携セミナー 「教育改革の意義を考える」

日時

2019年9月14日(土)
13:00 ~ 15:40

場所

学習院女子大学
2号館2階223教室

第I部

13:00

I. 基調講演

「国際的な視点から教育改革の意義を問い直す—主体的・探究的な学びのあり方—」

13:50

(東京大学大学院教育学研究科 北村友人准教授)

13:50

II. トークセッション

セッションテーマ「教育改革に関する俯瞰的視点と教室での実践をどのように連結させるか？」

14:40

東京大学 北村友人准教授 × 学習院女子大学 大桃敏行教授

14:40

III. 学習院女子大学のリベラルアーツ教育の充実に向けた新たな取り組み

本学の取り組みについて、概要をご説明いたします。

15:00

第II部

15:10

学習院女子大学説明会

学習院女子大学の教育の特徴の全体像に加えて、2021年度入試改革の概要をご説明します。

15:40



高校、大学教育はいま大きな変革期にあります。高校では、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・協働性」からなる学力の3要素により的確に対応するための改革が進むとともに、2022年度から新学習指導要領が年次進行で実施されます。大学では、高校でのそれらの改革に「接続」するような入試改革が2021年度から実施されるとともに、学修成果の可視化などが強く求められています。

このような大きな変革期にあるからこそ、それぞれの教育の「現場」に立つ高校の先生方と大学教員が、大きな変革の「意味」をあらためて共同で考え、意義を問い直すことが重要だと私たちは考えます。現場に携わる者の間での共同作業が、変革を真に意味のあるものにできる、あるいは、共同作業がなければそれぞれの現場では「外形的な改革」に流れてしまうのではないか、との思いがあります。

そこで、高校の先生方をお招きして行う「共同作業」の一環として本セミナーを開催することとしました。我々が直面している大きな変革の背景を広く国際的な視点で理解するために、教育の国際比較研究やそれらを踏まえた教育改革に対する提言に関しての第一人者のお一人である東京大学大学院教育学研究科の北村友人准教授から基調講演『国際的な視点から教育改革の意義を問い直す—主体的・探究的な学びのあり方—』をいただきます。その後、北村准教授と本学教授の大桃敏行（日本教育行政学会会長）によるトークセッションにおいて、来場される高校の先生方を交えて教育改革の意義を深掘いたします。

I. 基調講演

学びのあり方に対する考え方は急激に変化しています。まとまった、あるいは確立された知識や技能を伝えるだけではなく、それらの基礎を有しつつも、自ら問題を発見し、多面的な視点でそれを解釈する力が求められるようになってきました。そのような「主体的・探究的」な学びのあり方が求められるようになった背景には技術革新や価値観の変貌など社会におけるさまざまな変化があります。また、それら変化を反映しての国際的な教育のあり方についての議論の展開があります。それらの国際的な議論のうち、代表的なものが国連のSDGs(持続可能な開発目標)やOECD(経済協力開発機構)のPISA、さらにはそれに深く関連したキーコンペテンシーに関する議論などです。

北村先生には、我が国の教育改革の背景や内容をこのような俯瞰的な、また、国際的な視点から解釈していただくとともに、それをどのように「現場」での教育に関連付けるべきかについてお話をいただきます。



北村友人准教授

1972年東京生まれ。慶應義塾大学文学部人間関係学科教育学専攻卒業。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)教育学大学院社会科学・比較教育学科修士課程・博士課程修了。Ph.D.(教育学)。国連教育科学文化機関(UNESCO)パリ本部教育局教育専門官補、名古屋大学大学院国際開発研究科准教授、上智大学総合人間科学部教育学科准教授を経て、現職。他に、ジョージ・ワシントン大学フルブライト研究員、ダッカ大学(バングラデシュ)日本研究センター客員教授、王立プノンペン大学(カンボジア)学長特別顧問、等を歴任。現在、東京都教育委員、日本学術会議連携会員(第23-24期)、日本比較教育学会理事を務める。

II. トークセッション

北村友人准教授と本学大桃敏行教授によるトークセッションです。会場の先生方との対話型のセッションとします。

北村准教授の基調講演を踏まえて、本学の大桃教授と共に、より具体的に教育改革の意義と現場での実践について議論を深めていきます。来場される高校の先生方にもぜひご参加いただきたいと思います。



大桃敏行教授

1954年新潟県生まれ。東北大学大学院教育学研究科博士後期課程単位修得退学。博士(教育学)。東北大学大学院教育学研究科教授、東京大学大学院教育学研究科教授、東京大学教育学部附属中等教育学校校長、東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長を経て、2017年4月より学習院女子大学国際文化交流学部教授。現在、日本教育行政学会会長、日本教育学会法人理事、日本学術会議連携会員等を務める。

III. 学習院女子大学のリベラルアーツ教育の充実に向けた新たな取り組み

本学の取り組みについてその概要をご説明いたします。

また15時以降には、本学の教育や入試制度についてご希望の先生方にご説明申し上げる別セッション(第II部)をご用意しております。